

本年度の重点目標

組織名	学校評議員会
	評 価 者
	学校評議員 5名 (保護者1名含む)

	(1)個性や能力の伸長に向けた、きめ細やかな学習指導の充実 (2)生徒の多様化に対応し、健康・安全教育や教育相談活動の充実 (3)地域と保護者との連携を重視した教育活動の充実 (4)国際理解・グローバル教育、外国語教育などを通し、外国語(英語)による思考力・判断力・表現力の育成 (5)6年間を見通した計画的な進路指導の充実 (6)年齢の異なった生徒による相互交流とボランティア活動、自然体験活動、芸術鑑賞等、異年齢集団による活動や本物に触れる活動の重視
重点目標の適切さ	今年度の重点目標は適切であると判断する。引き続き、「生徒を主語に」を大切にし、自己肯定感をもてるように一人一人の好奇心を引き出す教育活動を希む。

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	改善方策	自己評価の結果 の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善 方策の適切さ
大項目	中項目	小項目						
教務部	学習指導	1 シラバスを適切に運用し、授業の進度や難易度は適切であったか。	B	B	○シラバスに加えて、単元配列表を活用し、探究的な学びを教科と関連付けよう教員全体で研 修を重ねていきたい。 ○ICT機器を活用する場面は先進的であるが、学校全体で効果的に活用するため、教員全体で 研修を重ねていきたい。 ○国際理解教育や外国語活動、異年齢交流など、コロナ禍で制限されてきた活動について、通常 通りの実施に戻していきたい。	A	A	A
		2 生徒の学習意欲を喚起させるような方策を立て、実践しているか。	B	B				
		3 クロムブック等ICT機器を活用し、個別・協働的な学習指導を実践しているか。	A	A				
		4 身に付けさせたい資質・能力に基づく、きめ細かな学習指導・評価の充実に努めているか。	B	B				
		5 国際理解教育や外国語教育などを通し、実践的なコミュニケーション能力や語学力の育成を行っているか。	B	B				
		6 異年齢集団による教育活動（行事や部活動等）の充実に取り組んでいるか。	B	A				
		7 授業評価の内容および実施は、教職員の資質等を向上させるものであったか。	B	B				
		8 校内研修を計画的かつ定期的に実施しているか。（研修を生かした教育活動を工夫しているか。）	A	A				
評価者の意見等			・中高6年間で指導できる力を活かし、進学実績だけにこだわらず、真に生きる力を身に付けるような指導をお願いする。 ・コンソーシアムも含め、探究アドバイザーの担当者が変わることもあるので、全体構想を毎年説明する必要がある。					
生徒指導部	生徒指導	9 生徒指導体制が確立され、状況に応じて組織的に対応しているか。	A	A	○生徒会を中心に本校の特色である異学年間交流を充実させるなど、活発な学校行事の運営等により、学校全体としての明るく過ごしやすい雰囲気醸成に当たる。 ○教員間での共通理解に基づく指導を行うために、生徒指導部がイニシアチブを発揮し、同一歩 調で組織的指導が行える体制づくりにより力を入れていく。	A	A	A
		10 発達段階や集団の構成に応じた望ましい生徒集団の育成に努める活動を展開しているか。	A	A				
		11 基本的な生活習慣を確立させるための指導を行っているか。	A	A				
		12 望ましい規範意識の育成につながる自律心を育む指導を行っているか。	B	A				
		13 教育相談体制が整備され、計画的かつ状況に応じた活動を行っているか。	A	A				
		14 いじめや学校不適応生徒への取組や、予防的な取組が適切に実施されているか。	B	B				
評価者の意見等			・生徒のSOSに敏感な教師集団が組織的に機能するような生徒指導をお願いする。 ・いじめの対応について、速やかな対応を評価する。					
進路指導部	進路指導	16 6年間を見通した進路指導体制を確立し、希望進路実現に向けた組織的な指導を行っているか。	B	A	○生徒が目標を設定し、その実現方法を考え、目標達成への努力を主体的に貫けるよう、教職員・保護者の共通理解を深め、学校全体で一丸となって指導に当たる。 ○生徒の目標達成を担保するには学力向上が必須となり、個々の生徒の状況に応じた指導方法の 確立や、データ活用・分析に基づく効果的な進路指導を進める。 ○年内入試・一般入試の両立に向けて、本校生の強みである探究的な学びを活かした指導やセミ ナーなどによるハイレベルな教科指導を充実させる。	A	A	A
		17 早期に自己理解を促し、生徒が主体的に進路選択できるように、計画的で体系的な進路指導を行っているか。	B	A				
		18 十分な進路情報の提供を行い、学校・生徒・保護者が一体となった指導を進めているか。	A	A				
		19 効果的な進路指導法の研究を行い、全教職員の指導力向上を図ることに努めているか。	B	B				
		20 進路相談体制を整備し、進路相談の充実を図っているか。	A	B				
		21 セミナーやスタディサプリ、模擬試験等を計画的に実施し、生徒の学習を支援しているか。	A	A				
評価者の意見等			・十分に指導されている。 ・卒業生のその後について、追跡調査で本校の教育力の成果を測るとよい。					
生徒指導部	保健・安全	22 教職員及び生徒の安全対応能力の向上を図るための取組（交通安全指導・避難訓練等）が行われているか。	A	A	○学校行事において、PTAを中心とした生徒・保護者・学校が一体となった活力のある取組を 行うことができるよう工夫する。 ○評価をとおした様々な取組の振り返りや学校全体の振り返りを行い、改善を実感できる方策に 確実につながるようなサイクルを確立する。 ○学校HPIによる積極的な情報発信により、地域・保護者が学校の教育活動への興味・関心を高 めるようなコンテンツの充実を図る。	A	A	A
		23 日常の健康観察や疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組を行っているか。	A	A				
		24 生命を尊重し、思いやりの心を育む指導を推進しているか。	A	B				
		25 校内支援体制が整備されているか。（教育相談、校内委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等）	B	B				
		26 新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、マスクの着脱について同調圧力等ないよう指導をお願いする。 ・交通安全指導・避難訓練が確実に実施されており、校区内学校との連携でしっかりと安全が守られている。	A	A				
対外・総務	組織・運営	27 各種行事等におけるPTAとの連絡調整が図られ、適切な運営に努めているか。	A	B	○学校祭の公開や保護者以外にも授業を公開するなど開かれた学校づくりに資する取組を充実さ せる。 ○様々なイベント等への参加を通して、本校生徒の学びの様子や成長の様子を広く周知する。 ○学校HPIによる情報発信のさらなる充実によって、地域・保護者が学校の「今」を知ることの できるコンテンツの拡充を図る。	A	A	A
		28 校外の関係諸団体と連絡・調整が図られ、行事等の適切な運営が行われているか。	A	A				
		29 学校評価を軸としたPDCAサイクルが確立されているか。 本校の教育活動を広く伝えるため、広報活動等の改善を行っているか。	B	B				
		30 生活習慣を確立し、異年齢交流を活かした寄宿舎生同士の良好な人間関係の構築に努めているか。	B	B				
舎務部	寄宿舎	31 主体的に生活改善する姿勢の育成のため、各回生のリーダーやエリアリーダーを中心とした組織運営を行っているか。	B	B	○生徒がリーダーシップを発揮した異年齢交流などを積極的に実施する。 ○スクールカウンセラーの面談等を踏まえて、寄宿舎生徒に必要な指導や支援を教職員が組織的 に行う。 ○寄宿舎生徒の学習習慣の確立に向けて丁寧な見守りを行う。	A	A	A
		32 HIR担任や宿直担当、スクールカウンセラーと連携して教育相談を効果的に実施しているか。	A	B				
		33 回生に応じた学習環境の整備と、学習意欲の向上を図っているか。	A	B				
		評価者の意見等						
その他	経営方針等	34 道内唯一の道立中等教育学校として、ここできれない教育を探究できているか。	B	B	○教育の目標や育てる生徒像などを学校全体で共有し、「ここできれない教育」の理念を、「個々人の教員の持ち味を活かすこと」「個々の生徒の状況に応じた最適な学びを提供すること」の2つの視座に置き換え、教職員の一人一人が自信を持って本校の教育活動を担い、その成果や課題を積極的に発信していく。	B	B	B
		35 研究指定での成果を教育活動に应用しているか。	B	B				
		36 校内研修日の完全下校を実施し、研修に努めやすい環境整備をしているか。	B	B				
		37 完全退勤日や部活動休止日の設定など、勤務時間縮減に向けた取組がなされたか。	A	B				
評価者の意見等			・市内はもちろん、道内の小学生とその保護者から選ばれる魅力ある学校づくりの推進を期待する。					